

第 13 回学術集会より御礼とブリーフ・サマリー

この度、札幌で開催されました第 13 回学術集会（JSMO 2015）には 5 千数百人の多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。素晴らしいご講演・ご発表と盛んなご討論をいただき、お蔭様で大変実りある学術集会となりました。厚く御礼申し上げます。

会期中には台風 11 号の影響で、中国・四国地方を中心に交通機関に混乱がございましたが、皆様にはご参加に際してご不便がある中でご参集いただき、重ねて御礼申し上げます。

来年 7 月には南博信会長のもと、神戸で第 14 回学術集会が開催されます。益々の盛会となりますことをお祈り致します。

第 13 回日本臨床腫瘍学会学術集会会長

秋田 弘俊

<ブリーフ・サマリー>

・テーマ「難治がんへの挑戦 ―医学、医療、社会のコラボレーション―」

・キーワード

- ①ゲノム解析に基づく新薬開発、個別化治療
- ②免疫療法
- ③がん薬物療法専門医

・特徴

- ①グローバルな最新情報の提供と共有
- ②学術集会国際化のより一層の推進
- ③がん薬物療法専門医 1000 人到達記念企画
- ④薬剤師、看護師等のメディカルスタッフが参加しやすいプログラムづくり

・「抗がん薬による職業曝露を低減するための札幌宣言」

（ワークショップ 5 「医療従事者の安全のための[Safe handling of Hazardous Drugs]の概念構築」、2015 年 7 月 17 日採択）

「すべての医療従事者の抗がん薬職業曝露は、各施設での組織全体の取り組みのもと、ひとりひとりが曝露に対する正しい理解を持ち、適正な環境下で、正しく手技を実行することで、合理的に低減することができる。」